



第 51 号

昭和42年3月10日印刷
昭和42年3月15日発行

発行所

宇都宮市旭町1-3, 427
宇都宮商工会議所
電話(3)3, 071-3, 074番

兼者 星 敏

印刷者 秋場 栄 吉

宇都宮市旭町2-3, 433
印刷所 三共印刷株式会社
電話(4)4, 106番(代)

ことしの政治情勢

—まずもって平穩に推移しよう—



矢 部 貞 治

さる一月二十九日に行われた衆議院総選挙で、もし自民党が二七〇議席を下回るような結果になっていたら、それだけ野党側が進出し、自民党内の佐藤批判勢力を勢いづけて、佐藤政権はすこぶる不安定となり、国会運営も党運営も困難の度を加え、情勢によってはことし中にまた解散という事態になったかもしれない。しかし選挙の結果は、佐藤政権に安定性をもたらしたので、いろいろと困難な問題はあっても、ことしの政治情勢は、まずもって平穩であろう。

総選挙直後の自民党の役員会で、佐藤首相は、選挙の結果は、「誇り得るものではないが、はずかしくない成績だった。」といったそうだし、福田幹事長も、「まあまああの成績だった」と述べたことだが、まずその辺のところである。二七〇議席を割るかも知れないと思われた自民党が、解散時より一議席少いだけの二七七議席をとり、保守系無所属からの入党で、二八〇を超える議席を保持したということは、むしろ予想以上の成績で、たしかに「はずかしくない成績」だったといえる。

しかし、反面、こんどの選挙で議員定数が一九名増加し、一九名の欠員もあったことを考えると、この成績は、首相のいう通り、決して「誇り得る」ものではなかった。ただ種々の不祥事件だの、いわゆる「黒い霧」だのに対する、世論のきびしい批判の中で、予想以上の成績だったというに過ぎない。

これに対し、社会党が僅か一四〇議席しかとれず、解散時よりも一議席減ったということは社会党に有利だと思われる条件があっただけに、完全な敗北というほかない。無所属からの入党で、やっと一四一議席にはなったが、選挙前には、どんなに少くとも、一五〇議席台に乗るだろうといわれた予想を、裏切ったものであった。

自民党や社会党に、どうしてこのような結果が出たのかの理由は、すでに論じつくされているので、ここでは触れない。要するに、自民党にもあきたりないが、社会党はもつとこまるという国民感情の、現われたとみてよい。それがまさに、民社党や公明党の第三勢力の進出となったので

ある。

本当の意味の多党化ではない。

このような結果を、一般に「多党化」と呼んでいるが、これはあまり正確な用語ではない。多党政治というのは、二つ以上の政党が連携しなければ、内閣を組織できないという状態のことで、自民党が絶対多数を得ているのだから、公明党が衆議院にも出たというだけでは、本当の多党化とはいえない。

しかし、民社、公明両党を合すれば、五五議席になるし、さらに社会党、共産党を合わせると、二〇一議席に上るという事実は、今後の政治運営上決して軽視できない。野党側では、物価、減税、住宅、公害など、国民生活に密接に関係する問題につき、政策協定を結んで、政府に圧力をかけようとする動きもあるし、小選挙区制反対などでは、全野党が結束するであろう。

そこで今後の国会運営には、複雑な要素がからんでくる。民社、公明の進出によって、今までのような社会党の審議拒否、自民党の単独採決といった姿はなくなるだろうし、両党だけの裏取引もできなくなる。その点は国会正常化に役立つ。その代り今後は政府与党も、とくに民社、公明両党の意向を十分に尊重しないと、国会運営がむずかしくなるし、民社、公明両党も、真の議会主義政党として、良識をもって行動しないと、国会を無能と混乱に陥れる危険がある。

多党政治というのは、各党がよほどの良識と節度をもって行動するのでないと、権謀術数やヤミ取引を生みやすく、無能、非能卒の政治に陥るおそれがある。このことは、ド・ゴール憲法前のフランスや、昭和三十年に社会党の統一と保守合同が実現された以前の日本などで、十分経験済みのことである。

四十五年まで解散なしの可能性も

しかし幸いにして現在では、まだ自民党が絶対多数を擁しており、本当の多党政治ではない。自民党が真剣に「粛党」と体質改善につとめ、党内の結束を保って行くなら、それは

ど無能、非能率の政治に墮することもあるまい。その点で今後の政治情勢の一つの焦点は、党大会で佐藤総裁に反対した批判勢力の動向である。

この勢力が、首班指名にどういう態度をとるのが、さし当てる問題である。本稿が世に出る頃には、この問題は済んでいるかもしれないが、党大会で民主的に総裁を公選したということは、首相候補を選んだことを意味するのだから、党大会で反対した人々も、首班指名では佐藤総裁に入れるのが、民主政治のルールである。

もしどうしても佐藤首班に賛成せず、他の者に入れるというのなら、その人たちは党を去るべきである。党を去る覚悟もないのなら、その反対行動には、おのずから限界があることを忘れてはならない。

日本はいま内外に、多くの重要課題をかかえている。これらの課題と効果的に取組むためには、何よりも政治の安定が不可欠である。幸い総選挙で国民は、自民党を安定勢力として認め、佐藤政権に安定性を与えたのである。この事実を、佐藤批判勢力も率直に認めるべきである。感情的な反対行動によって、みだりに党の結束をみだし、政局を不安定にするべきではない。批判は結構だが、討論、話し合いによって、コンセンサス(合意)をはかるべきである。ことしの政治情勢の一つのカギがここにある。

こんどの総選挙で、佐藤政権は一応安定した。左翼勢力がどんなに日米安保条約の廃棄を叫んでも、よほどのことがない限り、問題の昭和四十五年まで、解散なしで行けるかも知れない。

筆者略歴

鳥取県出身。大正十五年東大政治科卒、東大教授
拓大総長、憲法調査会副会長、公安審査委員、選挙
制度調査会副会長などを経て現在早大客員教授。
主な著者「政治学」「政治学入門」「近衛文磨」など。

日商情報

第一三六回常議員会開催

- 一、日時 42・1・18日(水)15時~17時
- 二、場所 東商第1・第2会議室
- 三、出席者 当所より保坂会頭並びに星事務局長出席
- 四、報告事項
 - (1) 昭和41年12月業務概要報告
 - (2) 昭和42年1月・2月事業予定報告
 - (3) 第28回観光委員会よりの報告
 - (4) 第33回貿易委員会よりの報告
 - (5) 第1回広域行政調査特別委員会よりの報告
 - (6) 訪華日本珠算使節団に関する件
 - (7) 全国商工会議所業務概況報告
 - (8) 全国商工会議所共済会業務報告

五、協議事項

- (1) 顧問委嘱に関する件
- (2) 日本商工会議所議員選挙に関する件
- (3) 発展途上国の一次産品開発輸入政策に関する件
- (4) 港湾施設整備促進に関する件

六、懇談

「本年の商工会議所の事業方針について」
—新事業を中心として—

第一三七回常議員会開催

- 一、日時 42・2・15日(水)13時~15時
- 二、場所 東商第1・第2会議室
- 三、出席者 当所より保坂会頭並びに星事務局長出席
- 四、報告事項
 - (1) 昭和42年1月業務概要報告
 - (2) 昭和42年2月・3月事業予定報告
 - (3) 第48回経済政策委員会よりの報告
 - (4) 第2回広域行政調査特別委員会よりの報告
 - (5) 第53回運営委員会よりの報告
 - (6) パレット・プール推進会議よりの報告
 - (7) 全国商工会議所業務概況報告(41年8月・9月分)
 - (8) 全国商工会議所共済会業務報告
- 五、協議事項
 - (1) 新内閣に対する要望の件
 - (2) 会社更生法改正に関する件
 - (3) 流通センター建設融資の特別措置に関する件(東京商工会議所提案)

日商常議員会に於て
政府宛要望議決さる

過般の第一三七回日本商工会議所常議員会において、新内閣に対する要望が次の如く議決され、政府並びに関係当局宛要望されることとなった。

新内閣に対する要望

このたび、佐藤新内閣が成立したが、総選挙によって示された国民の期待と批判に応え、複雑な局面を迎えつつある内外の情勢に対処して、清新かつ実効ある諸施策を遂行せられるよう望むものである。

本所はさきに昭和四十二年度財政経済政策ならびに税制改正に関する意見を提出したが、新内閣の成立に当って、とくに左記事項について特段の配慮をせられるよう要望する次第である。

記

一、来年度予算

- (1) 来年度の税の自然増収は当初予想をかなり上廻る見込



四、公害防止対策
 公害防止対策の推進については、産業の発展が国民の福祉の向上の物的基礎をなしている事実にかんがみ、国民の福祉と産業の発展との調和を図る」ことを根本原則

三、地域開発および都市再開発
 地域開発および都市再開発の著しい立ち遅れにかんがみ、これに対する強力な施策を実施せられたい。なお、資本自由化に関連して、低開発の地域について、外国資本による工場等の進出を容易ならしめる方途につき検討せられたい。

二、資本自由化対策
 資本自由化は今後の方が国経済の動向を決定する重大問題であるので、佐藤総理直接の指揮のもとに、各省庁の歩調を合わせてこの問題の解決に当らねたい。その際、自由化については、産業界とくに中小企業界に対する影響を十分考慮しつつ漸進的に進めるべきである。而して、資本自由化の実施に当っては、その前提として、(1) 科学技術の振興、研究開発の促進、(2) 協業合併に対する助成、(3) 中小企業および流通部門の近代化推進を強力に実行すべきである。

みであるが、企業の体質強化、国際競争力増強が喫緊の急務である今日、自然増収を極力企業減税に振り向けるよう努めるべきが当然であり、政府で計画中の印紙税、登録税の増税は取り止めるべきである。また、電気ガス税についてもこれを廃止すべきであるが、廃止が不可能な場合においては、これが減税を行なうこととし、とくに産業用に対しては減免措置を拡大すべきである。
 (2)、来年度暫定予算の編成については、単に義務的経費の計上に止まらず、所要の公共事業費をできるだけ計上することとし、積雪寒冷地をはじめとし、地域の開発のための公共事業の年度内執行に支障を生ぜしめないうようにせられたい。

とし、所要の国の助成、租税の減免措置を講ぜられたい。

当会議所日商議員として当選す

過般の日本商工会議所第8期議員選挙にあたり、当字都宮商工会議所が前回どおり、日商議員として(任期二ケ年)再当選致しましたのでお知らせ致します。

◎千葉市商店街視察実施さる

千葉市国鉄駅移転に伴ない、その後、著しく変形された同市商店街の実状を、つぶさに見聞すると共に、そごう百貨店の同市進出等、先進地として正に渦中にある、同市の実情をあらゆる角度から詳細に視察、当市商店街形成の参考に資するべく、当所議員有志並びに商店街連盟役員一行六十余名は、二月二十日(月)早朝より大型バスに便乗、同市商店街(繁華街)の視察を実施した。



知識産業

最近知識産業ということばがよく用いられる。知識産業とは、頭脳集約型の職業分野のことで、そのなかに入るものとしては、例えば①教育事業 ②調査研究開発事業③報道、出版および放送事業 ④広告事業⑤デザイナー、医師、弁護士などの自由職業などが挙げられている。今日、米国での国民総生産に対する知識産業の割合は約三割強、わが国ではまだ二割にも達していないとみている向きもあるが、今後これらの経済活動の経済に占める地位がだんだん大きくなっていくことは明らかで、経済の長期見通しなどは、この分野の産業の発達を考えないでは、正確な把握はできないのではないかとされている。

農林漁業などの第一次産業、鉱業、建設業、製造工業などの第二次産業が「物である商品」を生産することを目的とするのに対して、これらの経済活動は主として「物でない商品」の生産を目的とするもので、人的能力の開発の必要が大きく取り上げられ、人口の割りに資源に乏しく、また教育普及程度の高いわが国としては、その実体のとらえ方、経済効果の測定その他について、いろいろむずかしい点があることは予想されるが、これらの経済活動をそろそろ政策の対象として取り上げるべき時期に至っているものと考えられる。

当所の動き

(一) 新規青色申告者税務継続個別指導

一、とき 4242・1・16～18・20・23・26・31日(9日間)
 4242・2・6～10日(5日間)

- 一、ところ 当所第1会議室
- 一、主催 当所並びに宇都宮税務署、宇都宮青色申告会
- 一、内容 42年新規青色申告者に対する税務記帳指導について
- 一、講師 税理士 佐藤春光氏ほか
(聴講者五七二名)
- (一) 青色申告決算代行
- 一、とき 42・2・11(3日) (3日間)
- 一、ところ 当所第1会議室
- 一、主催 当所並びに宇都宮青色申告会
- 一、内容 青色申告帳簿決算代行
- 一、講師 宇都宮税務署青色指導係長ほか
(聴講者三四名)
- (二) 小規模事業者の為の商店経営講演会
- 一、とき 42・2・7日 13時~16時
- 一、ところ 雀宮商工会館会議室
- 一、主催 当所並びに日商、果商工会議所連合会
- 一、内容 商店の自己診断の方法について
- 一、講師 中小企業診断員 黒須靖之氏
(聴講者三八名)

四 青少年従業員の為の目で見える移動教室

- 一、とき 42・2・22日 7時30分~19時
- 一、見学地 (1) 水戸市内主要商店街
(2) 原子力センター
(3) その他
- 一、主催 当所並びに宇都宮市
- 一、協賛 市商店街連盟、市中小企業労務改善協議会、年少従業員福祉協議会、宇都宮地区勤労青年補導育成連絡協議会
- 一、参加者 市内商工業従業員一〇〇名

当所新規加入会員のご紹介 (敬称省略)

業種	住所	名称	電話
布帛玩具製造	双葉三丁目九~四	東海貿易双葉工場	
布帛玩具製造	若草町三、三三	渡辺玩具製作所	(二)九、五八
酒類食品販売	砥上町七五	鈴木酒造	(三)九、八八
美容業	宿郷町一七	オノザワ美容室	(四)四、七四
青果業	業峰町一七	中川商店	(四)三、五八
飲食業	桃華楼		(三)七、九四

全館新築落成



5階 結婚式場
4階 大宴会場
3階 中国レストラン
2階 お好み食堂
1階 和洋菓子店
地階 味の食堂街

菓子と食堂・味の殿堂

マスकिन

TEL (3) 1391 (代表)

宇都宮手形交換高 (単位千円)

年	月	手形枚数	金額
四十一年	十二月	九三、五一五	二四、六七五、六〇九
四十二年	一月	六五、四六一	二〇、七五〇、〇三九

不渡手形

年	月	手形枚数	金額
四十一年	十二月	六六六	九九、三三〇
四十二年	一月	四八六	六七、九四四

宇都宮銀行会 (一五行加盟) 預金貸付高

年	月	預金	貸付
四十一年	十二月	八四、九〇八、一八九	五六、四一八、九六七
四十二年	一月	八〇、八〇八、〇三一	五六、二二八、八一七

宇都宮市中小企業融資振興会 機械設備資金融資状況

年	月	摘要	件数	金額
四十二年	一月	申込	九	四、三八〇
		承認	五	四、三〇〇
四十二年	二月	申込	五	八、七八〇
		承認	一	八、七八〇

一流メーカー50社と
特約代理店契約

**工作機械と
機械工具**

アラムキ

総合
商社

Miyajimacho Utsunomiya
TEL.(0286)2-4245 代表

宇都宮市中小企業融資振興会施設
改善資金及び従業員宿舎建設資金
融資状況

年	月	摘要	件数	金額
四十二年一月	申込	認分	二四	八、五三〇
二月	申込	認分	一八	七、六八〇
	込		九	二、二五〇
	認		〇	〇

宇都宮市中小企業融資振興会
小口資金融資状況

年	月	摘要	件数	金額
四十二年一月	申込	認分	三三	一、一六〇〇
二月	申込	認分	二二	一、四〇〇
	込		〇	七、四五〇
	認		〇	〇

宇都宮発明協会創立10周年記念

発明講演会と功労者表彰式行わる

- 一、とき 42・2・24日 13時~16時
- 一、ところ 栃木会館大ホール
- 一、主催 当所並びに宇都宮市・宇都宮発明協会
- 一、発明講演会
 - (1) 演題 発明の着眼点について
 - (2) 講師 東京教育大学附属高校 教諭 柴田 薫氏
- 二、協会功労者表彰式
 - 受賞者 担当弁理士 堀田 健三氏
 - 協会役員 花塚 正氏
 - 協会役員 ㈱三豊製作所 宇都宮工場
- 三、発明映画鑑賞会
 - 〇星をみつめて 〇北海道の自然

一、参加者

当会議所議員、同工業部会々員および発明協会関係者、市内中学生等約一、四〇〇名参加、創立10周年を記念し、発明意欲の向上発展を企図して盛大に開催された。

当所事業運営の基盤を生む

各種開催会議経過詳報

(一) 運営委員会

- 一、とき 42・1・19日 13時50分~16時20分
- 一、ところ 第3会議室
- 一、出席者 見当委員長ほか八委員
- 一、協議事項
 - (1) 1月度の議員懇談会開催について
 - (2) 昭和42年度事業計画について
 - (3) 栃木県商工会館建設費負担金について
 - (4) 宇都宮市表彰条例に基づく産業功労表彰者推せんについて

(二) 観光委員会

- 一、とき 42・1・27日 10時~13時
- 一、ところ 第3会議室
- 一、出席者 福田(三)委員長ほか五委員
- 一、協議事項
 - (1) 万国博覧会視察積立会(仮称)について
 - (2) 宇都宮さくら音頭制定事業について
 - (3) 観光さくら祭開催計画について

(三) 常議員会

- 一、とき 42・1・27日 14時~15時
- 一、ところ 第3会議室
- 一、出席者 保坂会頭ほか一三常議員
- 一、議案

第1号、1月議員懇談会開催について
 第2号、栃木県商工会館建設費負担金について
 第3号、宇都宮市表彰条例に基づく産業功労表彰者推せんについて
 注、市産業功労者としての表彰者推せんについては、荒牧副会頭並びに小保方常議員のご両氏を、全員一致にて市長宛推せんのごことに決定された。

(四) 議員懇談会

- 一、とき 42・1・27日 15時~16時30分
- 一、ところ 第1会議室
- 一、出席者 保坂会頭ほか三六議員
- 一、懇談事項
 - (1) 栃木県商工会館建設費負担金について
 - (2) 市表彰条例に基づく産業功労表彰者推せんについて

(3) 宇都宮百万連合都市建設に対する夢

㈣ 文化 部 会

- 一、とき 42・2・7日 13時40分～14時50分
- 一、ところ 第3会議室
- 一、出席者 岩田部長ほか一〇部員
- 一、協議事項
 - (1) 宇都宮さくら音頭制定事業について
 - (2) 観光桜まつり開催計画について
 - (3) 市内の美化運動の推進について

㈥ 常 議 員 会

- 一、とき 42・2・16日 13時30分～15時40分
- 一、ところ 第3会議室
- 一、出席者 保坂会頭ほか二二常議員
- 一、議 案
 - 第1号、宇都宮広域都市建設協力推進策について
 - 第2号、当所会員の増強策について
 - 第3号、万国博覧会議員視察団について
 - 第4号、宇都宮さくら音頭制定事業並びにさくら祭開催について
 - 第5号、その他

㈦ 交通運輸部会

- 一、とき 42・2・17日 13時30分～15時50分
 - 一、ところ 第3会議室
 - 一、出席者 小平部長ほか二二部員
 - 一、協議事項
 - (1) 春の交通安全諸対策について
 - (2) 市内交通安全施設の整備改善について
 - (3) 宇都宮広域都市建設に備えての施策について
- 注、春の交通安全諸対策並びに市内交通安全施設の整備改善について、特に宇都宮警察署、宇賀神交通課長殿を本席にお招きし、その具体策について約一時間半にわたり種々ご意見をお伺いした。

㈧ 緊急常議員会並びに運営委員会

- 一、とき 42・2・22日 10時30分～12時
 - 一、ところ 第3会議室
 - 一、出席者 小林副会頭ほか一七議員
 - 一、協議事項
 - (1) 藤生専務理事死亡に伴う取扱いについて
- ㈨ 工業並びに建設合同部会
- 一、とき 42・2・24日 13時40分～15時40分
 - 一、ところ 第3会議室
 - 一、出席者 福田・増淵両部長ほか一三部員
 - 一、協議事項

よりよい品をより安く!!



全国に31の支店をもつチェーンストア

十字屋 宇都宮店

- 衣料品部 TEL(4)4816
- 食料品部 TEL(3)6332

- (1) 宇都宮広域都市建設推進協力について
 - (2) 建設グループ懇談会並びに講習会開催について
 - (3) 地場工業の団地造成について
 - (4) 宇都宮共同職業訓練所設置について
- 注、栃木県亀井開発課長殿のご臨席を頂き、宇都宮広域都市建設の構想について、約一時間にわたって種々有益なお話しを伺った。

㈩ 労働対策並びに厚生合同委員会

- 一、とき 42・2・27日 13時20分～15時
- 一、ところ 第3会議室
- 一、出席者 荒井・亀田両委員長ほか四委員
- 一、協議事項
 - (1) 共同職業訓練所設置推進について
 - (2) 雇用斡旋の現況について
 - (3) 新規学卒者受入態勢について
 - (4) 従業員の福利厚生について

当所 藤生専務理事 逝く

当所専務理事藤生善之助殿には、胃がんの為済生会病院に入院加療中のところ、二月二十二日、午前五時五十九分病あられたり逝去致しました。

二月二十四日、自宅において密葬、葬儀は同氏が生前多年にわたり当会議所並びに、当市商工業の振興発展に尽瘁せられた、数々のご功績に対して報ゆるため、特に宇都宮商工会議所葬として、三月九日、午後二時より、市スポーツセンターにおいて、当所保坂会頭が葬儀委員長となり仏式にて執行、日本商工会議所足立会頭を始め、朝野の名士多数が参列して盛大に行われました。

ここにご遺族に対し、謹んで哀悼の意を表しますと共に氏のご冥福を衷心からお祈り申しあげます。

追憶の記……

— 藤生専務理事を悼む —

「どうもこのごろ酒がのめなくなつた、自分でも不思議な程のみたくない、あの方もダメになつてしまつて、こんどは酒、だんだんと身体から娑婆氣が消えていつてしまふような心細い氣がして」最後は、何時もの豪快な笑い声にまぎらわしてはいたものの、何かその声音にたまらないような淋しいものが感じられた。

今思えば、それが去年の秋の末頃だったが、そのころから「どうも腹の調子が良くないんで」と仕事の合間を見ては、寒い冬の日のおとずれと共に、済生会通いの日がちよいちよいと続くようになった。

一月からは、ピタリと酒をやめられた。その月の二十一日、めずらしく職員全員が揃つた、第三会議室の午後の研修会の席に、主治医から軽度の胃かいようの為、入院治療を宣告された旨のしんみりとした専務からの挨拶があった。「今度でいよいよ三回目の入院ですから、おそろくこれが最後の入院になるでしょうが、何分にも齢ですから……これで皆さんともしばらくはお目にかかれないうことでしょう。その間、何かとお世話にばかりなることでしょうか、どうぞよろしく願ひします」このごろおながすいて、大分身体の調子が良くなつて来たと聞いていただけに一同とつてもそれは予想外の言葉だった。

翌日が日曜日だった為、一日おいて二十三日朝、入院の手続きを済ませる受付の雑踏の中で、銘仙のお対に灰色のマフラーを無難作に肩にかけた専務の襟足に、伸びた白髪がうっすらと目立って、うしろ姿に寒々としたものを覚えた。明るい陽ざしに包まれた新館の三階に病室が決まつて、まわりの方に例によつて細かく氣をつかう、専務の様子が何かあわれた。心労からか一日の間に、目に見えてこつそりとやつれの見えた身体を、深々とベットに沈めるのを「どうぞ、くれぐれもお大切に」と、毛布の襟を静かに押

春は足もとから

高級草履の

きむらや

オリオン通り TEL (4) 4849
東武デパート履物部 (4)8281内線(75)

えて病室を後にしたのが、今にして思えば最後のお別れであった。

その間、八年ぶりの大雪など、ただでさえ寒がりやの専務にとっては、つらくさみしい冬の日が続いて、二月六日、いよいよ手術されるというしらせ、その日の午後二時手術開始、遅くとも夕方までには終るとの予定だったが、いつか八時が過ぎ、九時もむなしく過ぎて、折からの心も凍るような寒さと、いらたらしい焦躁の内に、時計の針だけが静かに動いて、午後十一時過ぎ漸く手術終了、その間実に十時間、ほんとうに言語に絶した、文字どおり肉をそぎ、骨を削る、死闘そのものであつた。たろうに、例の強気と体力で堪えて堪えてや」と終了、腹の中の悪いところを全部取つただけに、時間はかかりましたが、手術は成功しました。経過については心配ないそうですからご安心を」との看護婦さんの連絡に、それまで、自分の身体を手術された程、全身に異様なつかれを覚えた胸を、ほつとまでおろして、ご無事を祈りつゝ一同の帰宅したのが夜半過ぎだった。

その後は面会謝絶、あの強気な専務だっただけに、おそらく衰弱しきつた顔を誰にも見せなくなつたのだから。それから、よほど親しい人以外はどなたが訪ねても、廊下で奥さんとお会いするだけで、チラッとドア越しにつかれました顔をのぞくだけだったとのこと。只、ひたすら経過の良好を祈るのみだった。

二月二十二日、寒い朝の静かな空気を破つた、けたたましい電話のベルに、専務ついに死すとの悲報を受ける。瞬間、声も出ず、感無量、ただ、最後の最後迄、苦しい死と闘いに闘って、どうしても駄目だったのだから……同じような言葉が、何度もくさみしく胸の中にくり返されるのみだった。

寒々とした暗い道を、例のくせで左ポケットに手を忍ばせたまま、心もち左肩をあげて、ひとりどぼとぼとぼと行く、専務の胸に去来するものは、やりかけたおのれの仕事に對してのつきざる執念か、または可愛いお孫さんのあどけなき笑顔か、急なお別れであつただけに、想い出と言うには、あまりにも生々しき在りし日の姿に、あゝあの時が、あの日が、と、只々追憶の悲しみのみに、日々胸せかれて言葉なし、ひたすらご遺族の悲しみに對しお悔み申しあげると共に、心から藤生専務のご冥福をお祈り致し、この一文を捧げて追憶の記とさせて頂きます。

新しい「パンフレット」をお読み
ください

中小企業庁だより

中小企業庁では、国の施策を個々の中小企業者の方々に十分利用していただく目的から、重要な施策ごとにパンフレットを作成することになっています。すでに昨年の秋以降六種類のリーフレットとパンフレットを逐次皆様のお手元に無料でお届けしています。今度、さらに新しく六種類のパンフレットを作成しました。既刊のリーフレット・パンフレットをお読みの方はご存知と幸いです

が、このパンフレットは従来国や県の施策に接触の薄い小規模企業者に対して、施策の目的や助成内容や助成を受けるための手続きを平易な文章で図や絵を入れて紹介したものです。官庁文章では読みづらい点も多いかと考え、文章やデザイン・レイアウトは全部民間の専門家に執筆を依頼しました。

今度新しく配布しますパンフレットは次の六種類です。
一、「明日の中小企業をつくる近代化への道」

― 中小企業近代化促進法のあらまし ―

業種全体の長期 ビジョンを策定し、このビジョンに合った個々の企業の近代化を進めてこそ、過剰設備、過度競争もさげることができます。このパンフレットでは、(1)業種別 ビジョンの策定は何故に必要か、(2)近代化計画の策定はどのような手順で進められるのか、(3)近代化計画を策定した業種に対しては、どのような助成措置が用意されているのかなどについて説明しております。

二、「機械を買うための資金が借りられません」

― そして、機械や設備を制賦でお譲りする制度もあります ―

近代化は、個々の企業が優れた機械や設備を導入することから始まります。しかし、中小企業は資金調達力に乏しく、思うように近代化設備の導入を行なうことはできません。このため無利子で設備資金を貸し付けている「設備近代化資金」と「機械類貸与制度」について(4)、制度設定の目的、(5)、制度の内容、(6)、手続きなどについて解説します。

三、「中小企業技術向上のために」

― 技術者研修制度および技術指導 ―

近代化は近代設備の導入とともに設備を駆使する企業の技術水準の向上が要請されます。国は(4)、中小企業の技術指導を行なうため、公設機関の設備を利用しての指導と出張して現場で直接指導する巡回指導、(5)、中小企業の従業員の技術水準を高めるための技術研修、(6)、中小企業者独自の技術開発を助成するための諸施策を用意しております。このパンフレットでは、技術研修と技術指導を紹介いたします。

四、「協業化をすすめましょう」

― 中小企業の発展のために ―

人手不足、技術革新、消費構造の変化、貿易の自由化、発展途上国からの圧力など、一企業の力では対抗できない多くの問題が発生しております。そのもつとも有効な手段である「協業化」について、成功した例や新しい「協業組合」構想を含めて説明します。

五、「下請企業の利益は護られている」

― 下請取引を改善し近代化をすすめよう ―

下請企業の地位向上のために用意されている制度を全て紹介しております。

六、「あなたの製品を輸出しませんか」

輸出にあたっての基本的な心構え、手続き、相談の仕方

大谷石のご用命は

大谷石材協同組合へ

宇都宮市大谷町1075

TEL 宇都宮(52)0924 (代表)

などについて初歩段階の問題について紹介しています。以上のパンフレットは都道府県の商工課または中小企業課、商工会議所、商工会、団体中央会、業種別組合などを通じて配布する予定でいます。

宇都宮商工青年学級修了式行わる

昨年四月より一か年間の長期にわたって、各方面のご協力のもとに開講されていた、当所内宇都宮商工青年学級は、去る三月三日を以て終了致しましたので、同日午後七時より当所内第一会議室において、昭和四十一年度修了者四十六名ほか、関係者多数の参列を迎え修了証書並びに精勤者に対する、精勤賞の授与等の修了式が行われた。

修了式の日を迎えて、過去一年間の春秋を回顧致しますとき、学級生の真摯な態度と熱意に対し、大いに敬意を表しますと共に、講師各位の本学級に寄せられた、終始ご熱心なご指導とご援助、事業主の皆様の深いご理解ご協力に對しまして、改めて厚くお礼申しあげます。

なお、来たる四月より、新たな構想を加えて開講致します。四十二年度商工青年学級に対しても、引き続きなお一層のご協力を賜わり、多数の若き従業員をして、聴講方特にご配慮の程切にお願い申し上げます。

新規中卒就職者激励会開催のお知らせ

昨年の好評に続いて、本年も当市内各事業所に、中学を卒業して新たに就職された人々を激励すると共に、働く者の社会人としての心構えについて、特に関係各機関より、それぞれの貴重な体験談について、豊富な励ましのお話を聞く会を、当所ほかの主催にて次のとおり開催の事となりまして、関係事業所におかれましては、なるべく該当者全員を出席させ、新規就職者の方が一日も早く職場の雰囲気になれ、あなたの事業所の大切な一員となられませう、ござってお申込みの程をお願い致します。

冷凍・冷蔵・冷凍ケース…設計
冷暖房・ダクト・防熱…施工

日成冷機工業株式会社

宇都宮市小幡1丁目1の19号
TEL 宇都宮 (0286) (2) 1006・3928
前橋市片貝町53
TEL 前橋 (0272) (2) 8016

なお詳細の実施要項につきましては、決定次第、各該当の事業所宛ご連絡申し上げます。

記

- 一、とき 四十二年五月初旬
- 一、ところ 栃木会館地下小ホール
- 一、演題 年少従業員の働く心構えについて
(青少年向劇映画上映予定)

『宇都宮さくら音頭』応募歌詩

一等入選作決定さる

既報のように、当所並びに市商店街連盟、宇都宮観光協会の主催にて、市民の皆さんに広く愛唱され、観光宇都宮を宣伝すると共に、恒例により近く開催される『観光さくら祭』を一層盛り上げる為、広く一般に募集された『宇都宮さくら音頭』の歌詩は、応募作品二八一点を、二月十八日、専門家により慎重に審査の結果、各等の入選作がそれぞれ決定発表された。

一等入選作は、直ちにコロムビアに委嘱、同社専属の作曲家「マア、いろいろあらあなア」の和田香苗氏、歌手も同社専属にて目下売出し中の新進歌手、三原新太郎、加賀城みゆきのデュエットで吹込むことが決定し、この程フオノシートの試作も完成、振付も専門家に委嘱して、さくら祭開期中大々的に発表会を行い、さくら祭を宇都宮さくら音頭一本のメロデーに絞って、賑やかに開催されることとなった。

一等入選作品は次のとおり。

宇都宮さくら音頭

一、春のナー春のたよりはどこから届く
宇都宮から桜から

ソール

八重も一重も仲よく咲いて
街もかすみの薄化粧

さくら さくら

さくら音頭は みんなの音頭

二、咲いたナー咲いた桜は振袖模様
宮の娘のすそ模様

ソール

宇都宮から音頭の輪から
夢の公園花ふぶき

(以下はやはり前節と同じ)

三、花のナー花の笑顔に笑顔をよせて
ひらく乙女の紅日傘

ソール

さくら祭へみな宇都宮
うかれつばめも宙返り

四、さくらナーさくら日和に景気の花も
咲いて栄える宇都宮

ソール

暮れりや絵のよな二荒山の
月もうれしやさくら色

(作詩入選者 池田誠一郎氏)

◎フオノシートご希望の方には、四月一日から一枚五十円
でお分けしますので、当所宛お申込み下さい。

◎交通安全スローガンの浸透について

全国的な交通事故による死亡件数が、昨年の数字を既に大きく上回っている、悲惨な現実から目をそむけず、少しでもこの恐ろしい事実を防止し、交通安全思想の徹底的な普及昂揚を図るべく、この度次のように年間スローガンが選定されましたので、貴事業所におかれても印刷等、その他機会あるごとにご利用の上、スローガン浸透に絶大なるご協力をお願いします。

昭和四十二年交通安全年間スローガン

運転車向け(一五篇)

最優秀賞

○ アッ危い そのスピードが死を招く
佳作

- 安全運転 今こそ一億総ぐるみ
- 上げた手に 徐行と停車をブレゼント
- あの世ゆき 酒が運転する車
- 安全は 人と車をつくるもの
- すれちがう あいさつがわりに減光を
- まず注意 なれた道でも車でも
- 踏切だ 停止だ左右確認だ
- いま一度 車の点検心の整備
- こわいのは なれすぎ積みすぎ飛ばしすぎ
- スピードを きそい合うよりゆずり合い
- 飛ばすまい あなた一人の道でない
- 大事故も 小さなゆだんと違反から
- 惜しむなブレーキ 頼るなハンドル

委嘱をしたかた

◎なお、当所では四月の更新期をひかえ、労災保険の加入促進を図るため、次のとおり各商店街、業種組合及び各事業所にご利用方呼びかけておりますので、ご希望の日時をご指定頂ければ、早速説明にお伺い致します。

記

- 一、労災保険制度説明会及び新規労災保険加入委託受理 三月～四月上旬
- 二、従前よりの労災保険加入 四月中随時委託者に対する更新手続

オートスライドご利用のお勧め

商店街または同業者組合等の集まりに、わずかな時間のオートスライドの映写によって、次のような経営・経理・労務管理などの講習会を簡単に開くことができます。

また、お店を閉めてからの休憩時間を利用して、お店の皆さんとの話し合いの場にも、活用して頂くことも結構です。

ご都合のよろしいとき、ご一報次第(当所内中小企業相談所、電話三、〇七三)その経費は一切無料で、映写機は勿論、担当の係員を伺わせて、すべてのお世話を致しますのでどうぞご利用ください。

記

No.	題名	所要時間	内容
1	働きよい店・のびる店	30分	従業員対策で事業主、主婦向
2	上手な客の応待法	25分	接客法で店主、主婦従業員向
3	上手な広告のしかた	25分	店主、主婦、従業員向
4	セールスマンシップ	20分	セールズ講座で万人向
5	販売を成功させるには	20分	青少年問題で事業主、主婦向
6	若い芽を育てよう	20分	事業主・主婦・従業員向
7	若い人達	15分	事業主・主婦・従業員向
8	職場の一年生	20分	企業への体質改善事業主
9	働く若者たち	20分	企業への体質改善事業主
10	話し合おう	20分	企業への体質改善事業主
11	共同福利施設	30分	事業主主婦向
12	職業訓練	25分	生産関係事業主、主婦向
13	産業安全	30分	一般商店街向
14	馬場町商店街の活動	30分	セールズ講座で万人向
15	販売のキッカケをどうして作る	20分	青色申告の仕方、事業主、主婦向
16	所得税のいろは	20分	金融について事業主、主婦向
17	あなたにも開かれている金融の窓	20分	金融について事業主、主婦向

貴工場の繁栄を約束する
木工機械専門店

豊富な在庫、完ぺきな技術サービス

株式会社 樋口商店

宇都宮市宿郷町652番地

TEL (3) 2935(代) 6819

◎小売店経営シリーズ(一)

経営コンサルタント 掛井 善雄

一 生業意識から企業意識へ

石油化学工業の発達による副産物、二次・三次製品や、プラスチック工業、硝石工業、尿素・沸素・窒素などいわゆる高分子化学工業の推進により、特殊な繊維、合成ゴム、溶剤その他新しい原材料が次々と開発或いは改良され、私達の日常生活の中に応用されています。また、国鉄の「みどりの窓口」を始め金融機関でも電子計算機が、お客様への迅速正確なサービスに欠かすことのできないものとして普及化されてきました。今後は更に精度の高い原材料を用い、外見や操作が単純化される反面、非常に高度で複雑な機能を内蔵する商品がますます増えてきましょう。相等高度の商品知識と取扱技術を身につけなければ、それらの商品を大量且つ迅速に売り捌くことは難しく、いわば、市場に廻る商品に追いついていけなくなります。では、どのようにしたらよいでしょうか、カメラ店に例をとって研究することにしましょう。

一人は人なり、我は我れなり、されど仲良き

被写体を正しく捉え、自分の技術に適したカメラを使い、フィルムを選び、モチーフの表現に必要なデーターをセッとし、最良のタイミングを見てシャッターを押してこそ、よい写真が撮れるというものです。

カメラ店、DP店の経営も全くこれと同じことです。企業目標・経営方針(被写体)をはっきりと把握して、自店の経営規模・能力(技術)にふさわしい組織(カメラ)人材(フィルム)を整え、経営方針にそった諸計画(データー)を緻密正確に樹立(セッ)して、ここぞという時期、機会(シャッター・チャンス)を外さずに全精神を集中して実行(リリース)して、はじめて所期の目的成果をあげることができるようです。

十店あれば十店、千店あれば千店がそれぞれ違った条件、環境のもとにあります。あなたのお店は、世界中であなたのお店一軒しかないという個人差、個性が必ずあるものです。ただ欲しいというだけで、小学生にレンズ交換可能なフォーカルブレン・シャッターカメラをあてがっても決してよい写真は撮れませんし、プロ写真家に、単焦点のボックス・カメラで超望遠写真を撮れと言っても無理な話です。

それぞれの時点においての自店のありかたを正しく見つけて、分に応じた商売のしかたを常に考え出しながら経営して欲しいものです。

—アマチュアでなく、プロの商人に—

要写体（企業目標）を取り巻く諸条件や、撮影者（各カメラ店・DP店）のポジションをめぐる環境条件の変化・推移に留意することを忘れると大変な画像を得ることになります。

それからの変化に応じて、あるいはカメラ（組織）を取り換え、フィルム（従業員）の感度（知識・技術）の高いものを使用し、必要に応じては望遠・広角・接写のレンズをつけたりフラッシュやフィルターの使用（市場調査・信用調査）によって被写体を浮彫りにして、夜間・逆光線（不況時）の場合にも、他の撮影者（競合店）よりも常に優位、有利な立場に「自分の努力」で立って、よい作品（成果）を得ることに専念することができてこそ、芸術的な印象が撮れるプロ写真家と言えましょう。

そして何よりも大切なことは、常日頃からの芸術的な絵心と、周到な準備、技術の向上をはかるためのたゆまぬ努力をしてこそ、とっさの場合にもよい作品をモノにすることができるのであって、棚ボタ式のシャッター・チャンスなどは、僥幸以外には、そうそうめぐり会えるものではないということに肝に銘じて頂きたいのです。

また、他店よりも優位を占め、有利な立場に自分をおくといいますが、どのお店も共に繁栄することが望ましいのですから、自店さえ良ければ何をやっても構わない、という高慢不遜な態度ではなしに、同じ商売仲間としてお互いの繁昌を妨げずに、しかも自店の個性を十分発揮できるように、商売のしかたを望んでやみません。

—真面目な経営理念こそ大切—

カメラ店の今後の繁栄は、大型化を図るか、専門店になり切るか、共同化を実現するかのいづれかによらなければ、到底望み得ない……ということが早くから叫ばれており、既にそれぞれの方向に歩を進め、成功されているお店も見受けます。

反面、何にでも飛びついて行っては「鵜の真似をした鳥」よろしく忽ち溺れ、アップアップしてしまうお店もあります。ガムシヤラに猪突猛進するだけが積極的な経営だとは申しませんが、「その意気はまことに壮とすべきである」などと、歯の浮くようなお世辞を言うわけにもいきません。

と、いいますのも、F8、固定焦点でもちろん単玉、絞りの調節不可能、シャッタースピードは三十分の一とバルブだけのカメラに、超々高感度のフィルムを装填して、夏の炎天下で撮影するようなもので、自店の販売能力、支払能力や、旺盛な販売意欲、殊に顧客の獲得と固定化、新需要の喚起による販売拡大と一歩前進するための、たゆむことのない革新意欲、それらを支える真面目な経営理念等を無視して、莫大な金をかけてDPの自動化をしてしまったり、豪華な店舗に改装したりしても、ハレーションを起こすことは火を見るよりも明白だからなのです。経営は、確固たる信念のもとに、真面目に行なうものであり、決して見栄や、権力を以って営むものではありません。

◎一～二月の当所会議にのこる

ニュース性を含んだ

言葉・ことば・言葉・ハイライト

百万都市建設構想の中心地である宇都宮市だけに、その商工業者の代表である、議員の皆さんのそれぞれの意見を纏めて、事務局で総合的にこれを検討して、将来のビジョンに対するある程度の方角を定めていくことだと思えます。激しい経済の変動期だけに、将来の宇都宮市はどうあるべきか、そうしたことの方向を会員に対してPRするということも、会議所の会員に対しての責任として、当然必要なことだと思えます。

（一月十九日、運営委員会における「百万連合都市建設に対する夢」として、議員懇談会提案の事務局説明に對しての、見当委員長の言葉より）

東北自動車道路のインターチェンジのできるところに、集団化による問屋街等の卸総合センターの建設を推進するように、県当局では考えているようです。

宇都宮市の卸団地造成につきましては、中央卸売市場が平出工業団地に進出できるように、その出方を実は今日迄待ってあったようなわけでしたが、これが建設省の反対で全くご破算になりましたので、卸団地として前々から話のあった平出のことは、この際スッパリとあきらめて、改めて卸部会で団地の問題をご検討願いたいと思えます。同時に当所の広域都市対策特別委員会でも、中心市街地の再開発の問題と併せてこの問題を、早急に検討していきたいと考えております。

（一月十九日、運営委員会における、上野（美）卸部会長の卸団地造成促進についての、質問に対する、藤生専務理事の答弁より）

卸団地の造成は、当然さし迫った焦眉の問題ですが、あまり騒ぎたてると土地の値段が騰って終う。そこにむづかしいところもありますので、飛行場の東等、附近の地主を含めた農地開放委員会とも話を進めて、できれば平出の工業団地と同じような値段で話を纏める等、要するに県

と市のお役所関係で造ってもらって、そこに団地が入って行く、この方法をとることがよその団地の例を見ても、一番失敗の無い良い方法だと思います。

(一月十九日、運営委員会における、卸団地造成についての荒牧副会頭の意見より)

私から会議所に頼んで、千葉市の資料を取ってもらって、各議員さんにご送付申しあげましたのでご説明致します。千葉市の旧駅前のご存知のように宇都宮駅前よりちよつと小さかったが、現在の宇都宮駅の状況と、移転する前の千葉駅の状況が実によく似ていました。国鉄では東口駅の計画は勿論しているのでしようが、考えさせられる点が多々ありましたので、データを取り寄せたわけです。

将来当市に東北新幹線ができる場合、駅を果たしてどこに持っていく考えか、現在のラッシュ時のあの殺人的な駅の場合では、おそらく雀宮方面に持っていかれて終うのではなかるうか。(千葉駅移転に伴ない、全く変形された同市商店街の実状を、データに基づき詳細に説明す)

また、できるかどうかは別の問題として、両毛線では、現在通勤者に対して高速路線の陳情をしている。当市でも新幹線が具体化された場合を考えると、こちらで確りとした受入体制をとるべきであるとして、実情が千葉市が一番よく似ておりましたので、資料をお送りしましたので、今宇都宮駅に問題が起っているということではありませぬ。

なお、千葉市の将来の発展性を見越して、そごう百貨店が進出(売場面積一万七千平方米)の新店舗の計画申請を、そっくり通産省で呑み込んでしまいました。他山の石として当市でも、東京インテリア家具、十字屋の百貨店としての新建設、クレジット丸井の進出等、こうした大商店進出の話題が既に現実化されており、できれば市が中心となって、当市の商店街が今後どういう方向に進んで行くべきか、ビジョンをご発表願って、駅の将来の問題も含めて、広域都市対策特別委員会で、これらの問題を真剣に検討したいと思えます。

もう一つ、松下電器が週五日制をとると聞いておりますが、これは問題になると思えます。(現代っ子は、労賃よりも大メーカーにあこがれを持っている)大企業が進出されることは結構なのですが、その為に中小工場に与える影響は大きなものがある。この問題は労務供給の問題として、関係者と呼んで大いに検討して頂きたいと思えます。

また、先日所用で仙台市に参りましたが、仙台では、金属工場、卸業、印刷、自動車の整備工場に至る迄、すべての団地が国の助成を受けて着々と整備されており、当市でも現在の事業所がせまくて、団地に進出したいという希望者は相当に多いと思うが、何をかおいてもこうした問題を、会議所の重点施策として進めて頂きたいと思えます。市の方でこうした団地の問題をどういう風に今後、持っていくか、これらのご計画をどう発表願いた

(一月二十七日、議員懇談会にて、福田(俊)常議員の千葉市のデータ「国鉄駅移転に伴う商店街の影響に対する事例について」送付に対する質問その他に対して、

石海常議員の説明より)

宇都宮市の七不思議の一つとして、また場所も決まらないのに、中央卸売市場の係員が市に配置されています。敷地については平出の話が駄目になりましたので、その後飛行場の隣接地等が適地であるとして、雀宮方面がグロースアップされてきたことは事実ですが、現在検討中の段階にあると聞いております。

なお、これは今朝の観光委員会でも話題になったことですが、宇都宮は国際的な日光・鬼怒川と結んで、ただ立地条件がよいというだけで、観光としては何んも見せるべきものがない。会頭から将来の吉野千本の再現を目指して、桜の苗木を今から植えてはどうかとのお話があったそうですが、折角植えても植えた場所に水が無いということが致命的になっている。こうした問題を大所高所の見地から検討して、いわゆる見せる観光地を造る必要があると思えます。細野ダムを開発して、観光地と共にすべての近代施設を完備した、中小企業の大レジャーセンターを設置する。当市でも新市長を迎えた場合は、市街地再開発の問題や観光面におけるレジャー施設のことについて、経済人の懇話会でも早速つくって、何時でも予算が予算が、というようなことを言わないよう、横浜市等の先進都市で現在盛んに行われているように、経済人が集って宇都宮市の将来の繁栄の為に、お互いが出資し合って、大きく市政を動かしてこうした開発の面の事業を盛んにして行くべきであると思えます。

駅前のごことは、千葉の資料を関係者に全部配ってありますが、二月下旬に同市の変形された商店街の実際の姿を、当所の議員と商連の有志で視察すべく目下計画しております。

今後、当市の駅はどうあるべきか、両毛線電化のことも、中央市場等卸団地のことも、また、市街地再開発の問題等、宇都宮市のこうした当面の問題についての基本的なものを、新しい視野と新しい角度から真剣に考えていかなければならないと思えます。

第一回の工場アパートがこんど出来ることになりましたが、こうした政府の長期資金制度を利用した業種ごとのものが、今後はどんどん出来てくるようになります。雇用協会のことで県内各地の安定所を歩きましたが、先程の松下電器の進出の問題等ともからんで、会議所も各種委員会の機能をますます活発にしていかなければならないと思えます。

(一月二十七日、議員懇談会における、荒牧副会頭の言葉より)

市の街づくりにつきましては、市議会としても真剣に検討しております。全国的に見ても市街地の近代化は、首都圏整備法によって大都市中心になってきております。人口

の増加も東京・横浜の京浜地方は勿論ですが、県内では、宇都宮と小山が増えておりますが、ほかのところではむしろ漸減の傾向にあります。従いまして県内の実状を見ますとき、当市が発展の中心となり、特にその中心となる繁華街の発展というものは、非常な速度で進んできておりますが、それだけにまた交通量も飽和の極限状態になってきております。

今後の街づくりの問題として、その点も検討、いわゆる昔の繁華街を盛り込んで、しかもそこに交通の問題も併せて考えた結論として、宇都宮市の将来の繁栄の為に二荒山前の地下道商店街の建設は、必要であるということを経議会の意志として市長宛提出致しました。しかし、それをどう造るべきか内容的には触れておりません。議会の調査機関としては、造ることが適当であるとの結論となりましたが、それにはどこ迄も地元の方の意見を入れて構想を練るように、市内商店街の学識経験者のお集りを願って、そうした業界の方の総知を集めて、宇都宮市商店街の将来の繁栄発展を図りたいというのが答申の結論でした。

この答申に対してご存知のように早くも反対の氣勢をあげられた方もあり、反面早急に造るべきであるという積極的な賛成論等、これまでにいろいろなご意見がありました。が、卒直に申し上げて現在の市の財政では到底出来ません。地下商店街をどんな風に建設するか、むしろ宇都宮市の商工業者の方が、こういう風にあるべきだという強い意見を出されて、財源と合わせていかないと、なるべくむずかしいことはさけてということで、大きくこれを方向転換させることは、なかなかまよやましいことではできません。

今後は、商工会議所の議員の方の各機関の意見を結集されて、その上で中心となるバックボーン的な機関である、何か強力なうしろ立てをつくって、この問題に当って頂くことが、まず大切なことだと思っております。

(一月二十七日、議員懇談会における保坂会頭の諮問に
対し、市議会内の市街地近代化調査特別委員会々長と
ての、田辺常議員の説明より)

経済情勢上からの当市を見ますとき、最近のおびただしい数である銀行の宇都宮への進出は、当市の将来の隆盛発展を見込んでのことであろうと思えます。反面当市の商工業者としては、その受入体制を作る経済上の心構えが必要であると思われまます。

先程の中央市場の敷地の問題につきましては、現在もそうですが、将来は一層東北六県と東京との密接な関連が生じて参りますので、引込線等貨車に便利な場所という所にハンデがありますので、これまでも用地の選定には色々苦しんでおりますが、流通機構上、何れにせよ土地のかくとかは早急に解決せねばなりません。

今後の宇都宮市としては、地下商店街建設の問題もありませんが、ご承知のように現在の繁華街の状態では、何か催しごとがあった場合、人を集めることが出来ないような混雑の状況になっておりますので、パスターミナル等の施設

も設けて、交通の緩和策を図らなければならないと思えます。今後は、皆さんの建設的なご意見を参考として、将来に備えて進んで行きたいと存じますので、何分のご協力をお願い致します。

(一月二十七日、議員懇談会に臨席せる、市塩沢経済部長の談話より)

いろいろと本日は当市の将来に対しての、貴重なご意見をご発表頂き有難うございました。全くお話の出来ましたとおり、宇都宮市としても確かに幾多の重要な問題が山積しております。

ただ、言えますことは、日本の産業革命のテンポが、われわれの考えている速度以上に急速に進んでいるという事実を、はつきりと認識して、これらのすべての問題に当たって行くべきであるということ、議員の皆さんに確りとお願い致します。

(一月二十七日、議員懇談会における、保坂会頭のむすびの言葉より)

広域都市建設の問題は、もちろん宇都宮市が中心となるべきですが、宇都宮市だけではダメであって、はつきり申しあげて県の技術陣が、関係省と話を進めなければ到底できない問題です。広域ということになると国の予算の問題に行き鹿沼・真岡がこれに続くことになるわけです。

宇都宮としての地元の具体的な意見も、勿論たいせつですが、根本は、県の予算を中心とした青写真をつくって、もらって、それからのことでは出来ないと問題です。

県都としての宇都宮の姿が今後どう変わっていくかということは、結局県が主体となって市とタイアップして、県が本腰を据えて建設省の役人と話を進める、市はその話をうまく引き入れて、宇都宮市としての計画を作っていくということになると思えます。

宇都宮市の百万都市建設の構想は、すこぶる大きいスケールですが、そういくべきが本筋であって、あく迄も県が本腰を入れてかからねばならないということをご参考迄に申しあげたい。

(二月十六日、常議員会における、宇都宮広域都市建設協力推進策について)の保坂会頭の意見より)

たしかに只今の会頭のご説のとおり、市自体としましても企画課として、県の企画部といろいろと折衝、百万都市の構想を現在真剣に検討しております。

産業道路の建設等、実は昨日市長から今後の構想について話を受けました。まだ発表の段階ではありませんが、県の企画に則応して、雀宮の県総合グラウンドの南側に、懸案の中央卸売市場等の流通センターを建設したい、何んとか現市長の在職中に土地の獲得だけでも済ませたいものと、現在、その土地について交渉の段階にありますので、今少したてば皆さんに詳しく申しあげることができると思いますが、すべて県と接渉して企画中であるということは、申

しあげることができません。

(二月十六日、常議員会における、高橋副会頭(市議会議長)の言葉より)

団地の問題は、では、誰が猫の首に鈴を付けるかであつて、いざ先頭に立つということになると誰も逃げてしまふ。結局、業界に率先した旗振り、リーダーが出てこなければ何時迄も進まない問題だと思ふ。

(二月十六日、常議員会における、団地問題についての、荒牧副会頭のことばより)

東北自動車道のインターチェンジの場所がどの辺になるのか、まだ公表されておりませんが、だいたい県内に五箇所ということは聞いております。

団地の問題につきましては、只今の事務局説明どおり、平出の工業団地は、生産工場を優先する立前だけに、現状では生産工場以外のは無理であるということになっております。しかし、県当局の意向では、当市の商工業者の進出希望者が多ければ、別な土地を取つてもよいということを考えております。

先程の高橋副会頭の話ですと、これが具体化されてきて、県と市の企画部で相談して、これらの案を練つておられるそうで、これは大変な進歩であり、良かったと思つております。(今迄は県の方に、市から何んの相談も無かつたと聞いています)結局、市だけではダメであつて、県とタイアップしなければ何も纏らない。こうした問題は、あく迄も県の対策であると思ひます。県は企画課を企画部に拡げて、広域都市建設の問題を大きな計画で始めている、これによつて今後の栃木県は大きく一変して行くと思ひます。

こうした県にも輸送、・卸等の団地を別に取る計画はあるのですから、業者の方も協同組合を作るなり、何んなりして要望しなければ県でも動けないと思ひます。

(二月十六日、常議員会における、笠原監事の輸送ターミナル設置問題についての質問に対する、保坂会頭の説明より)

旧税務署跡の市民会館の建設時期が、相当に遅れるような話ですが、自動車なら有に二百台は収容できるあの敷地を、あの儘放置しておくことは市の為には勿体ない。

建設が決まる迄の暫定期間だけでもよいから、公営の無料駐車場として一般に開放するようには、市当局に会議所として要望してはどうでしょうか。なお、整地費用として二〇万円ぐらい、かかるようですが市に若し予算が無いとすれば、地元の者でその費用を出し合つて、有料にしてもよいと思ふ。何れにせよ土地については、市に管理権があるのですから、至急開放方陳情するようお願いしたい。

(二月十六日、常議員会における、荒牧副会頭の提案より)

労務管理無料相談

労災保険 年度更新
健康保険 諸手続
厚生年金 事務代行

失業保険 有限会社
栃木労務管理事務所

宇都宮市西3丁目5番10号
TEL (3) 4584番

事務局日誌

一月

- 一日 議員新年祝賀会開催 十時三十分
第一会議室 高橋副会頭他三十名出席
- 二日 昭和四十二年度新年名刺交換会開催 十一時
婦人会館 宇都宮市長他一二一名出席
- 六日 宇都宮市消防通常点検(出初式)開催 九時 旭
中学校 荒牧副会頭出席
- 七日 鮮魚小売商店永年勤続優良従業員表彰 十一時
大晃 星局長出席 大和魚類(株)金子代志男殿他四名
- 十日 栃木県商工会議所連合会定例専務理事事務局長会議開催 十時 みくら山会館和室 星局長出席
- 十二日 栃木工業人クラブ新年特別例会 十一時 栃木会館 星局長出席
- 十三日 宇都宮市中小企業融資振興会小口資金融資審査会開催 二時 第三会議室 藤生専務理事出席
- 十三日 宇都宮税務署小企業納税者の税務継続指導に関する四者協議会開催 一時三十分 税務署会議室 星局長出席
- 十六日 宇都宮市商店街連盟正副会長会議開催 三時 第三会議室 藤生専務理事 星局長出席
- 十六日 栃木県商工会議所連合会会頭会議開催 十時三十分

分 栃木会館レストラン三笠 保坂会頭 藤生専務理事 星局長出席

十七日 栃木県衛生民生部青少年をとりまく社会環境整備懇談会開催 十時 栃木会館第五会議室 藤生専務理事出席

十八日 日商第一三六回常議員会開催 三時 東商第一・二会議室 星局長出席

日商第一回広域行政調査特別委員会開催 一時 日商役員室 星局長出席

山崎百貨店社長山崎順蔵殿告別式 一時 スポーセンター 藤生専務理事 小川次長参列す

十九日 宇都宮市中小商工業施設改善資金融資審査会開催 十時三十分 第三会議室 藤生専務理事出席

運営委員会開催 一時三十分 第三会議室 見当委員長他八名出席

二十日 第十回世帯更生資金運営委員会開催 十時三十分 保健福祉会館第三会議室 小川次長出席

廿四日 宇都宮市中小工業機械設備資金融資審査会開催 一時三十分 市役所第一会議室 小川次長出席

関東商工会議所連合会幹事会開催 二時 東商役員会議所 星局長出席

廿五日 栃木県教育委員会働く青少年のつどい打合せ開催 十時 河内庁舎

廿七日 観光委員会開催 十時 第三会議室 福田委員長他五名出席

常議員会開催 二時 第三会議室 保坂会頭他十三名出席

議員懇談会並懇親会開催 三時 第一会議室 保坂会頭他三十五名出席

卅一日 栃木県商業照明合理化委員会照明講習会開催 一時 栃木会館第十会議室 渡辺 亀田指導員出席

二月二日 関東商工会議所連合会経営指導員研修会 伊豆長岡 大貫指導員出席

二月 宇都宮東ライオンズクラブ認証伝達式 十二時 栃木会館大ホール 荒牧副会頭出席

七日 栃木県商工会議所連合会専務理事々務局長会議開催 十時 みくら山会館二階 星局長出席

文化部会開催 一時三十分 第三会議室 岩田部会長他十名出席

九日 関東商工会議所連合会商工業立地整備研究会開催 一時三十分 東商第一会議室 星局長出席

十日 日商第二二回商工技術担当者会議開催 十時 東商第一・二会議室 小川次長出席

十三日 第三回宇都宮市タコあげ大会競技役員会開催 十時 市役所正庁 星局長 小川次長出席

栃木県小売酒販組合連合会通常総会開催 十一時 中村 荒牧副会頭出席

十四日 日商第二回広域行政調査特別委員会開催 三時 日商役員室 星局長出席

十五日 日商第一三七回常議員会開催 一時 東商第一・二会議室 星局長出席

十六日 常議員会開催 一時三十分 第三会議室 保坂会頭他二十二名出席

十七日 宇都宮さくら音頭歌詞応募作品審査会開催 十時 市役所議員第一控室 星局長 小川次長出席

交通運輸部会開催 一時三十分 第三会議室 小平部会長他二十二名出席

佐野商工会議所創立二十周年祝賀会開催 十一時 佐野商工会館 荒牧副会頭出席

十九日 第三回宇都宮市タコあげ大会開催 十二時三十分 宮原球場 星局長 小川次長出席

二十日 池田妙太郎殿告別式 十時 自宅 青木職員ほか 当所職員多数参列す

千葉市先進地視察 七時四十分出発 荒牧副会頭他五六名参加

廿一日 宇都宮市中小商工業施設改善資金融資審査会開催 十時三十分 第三会議室 小川次長出席

廿二日 藤生専務理事死去のため緊急常議員会並びに運営委員会開催 十時三十分 第三会議室 小林副会頭他十八名出席

廿三日 葬儀委員会 一時三十分 第三会議室 小林副会頭他十名出席

廿四日 工業並びに建設合同部会開催 一時三十分 第三会議室 福田工業部会長他十三名出席

廿七日 新規学校卒業者の受入れ講習会開催 一時三十分 第一会議室 荒牧副会頭 星局長出席

労働対策委員会並びに厚生委員会開催 一時 第三会議室 荒井労働対策委員長他七名出席

小売物価調査報告表

(昭和四十二年二月現在)

区分	品目	単位	価格	区分	品目	単位	価格	区分	品目	単位	価格	区分	品目	単位	価格			
穀類・粉製品	うるち米(配給)	1kg	116.50	野菜	大根	1kg	50	畜産食品	牛肉	100g	110	加食料工品	竹輪	100g	10			
	"(非配給)	"	133		キャベツ	"	70		豚肉	"	70		たくあん	"	8			
	"(外来)	"	—		ねぎ	"	120		牛乳	180cc	16		菓子	ビスケット	1包	100		
	"(準内地米)	"	97		玉ねぎ	"	120		鶏卵	1本	24			キャラメル	1両	20		
	もち米	"	145		りんご	"	90		バター	1両	180			ドロップ	100g	25		
	精麦	"	65		みか	"	110		調味料	醤油	1本			220	せんべい	"	33	
	小麦粉	"	60		水産食品	まぐろ	100g			25	味噌		1kg	115	嗜好品	清酒	1本	510
	小豆	100g	44			さば	"			12	化学調味料		1かん	170		ビール	"	120
	食パン	"	10			いわし	"			—	砂糖		1kg	135		焼酎	"	345
	干うどん	"	7			いか	"		15	食用油	1ℓ		180	ウイスキー		"	300	
野菜果実	かんしょ	1kg	50	いさ		"	60	加食料工品	豆腐	100g	6	ジュース	"	300				
	ばれいしょ	"	70	煮干		"	40		油あげ	"	30	緑茶	100g	—				

区分	品目	単位	価格	区分	品目	単位	価格	区分	品目	単位	価格	区分	品目	単位	価格	
嗜好品	紅茶	1かん	150	織品	作業服	1着	1,900	燃料	木炭	1俵	650	雑品	洗濯せっけ	1袋	450	
	たばこ(いこい)	1両	50		メリヤス	1枚	200		まき	1束	80		クリーム	1個	120	
織	晒木綿	1m	26		男子シャツ	"	800		石炭	1噸	195		新聞	1ヶ月	580	
	ポプリン	"	100		男子ワイシャツ	"	180		れん炭	1袋	350		男子革靴	1足	3,000	
	キャラコ	"	85		男子くつ下	1足	180		ガソリン	1ℓ	48		運動靴	"	300	
	ネル地	"	100		婦人くつ下	"	400		家庭用機械器具	テレビ	1台		52,000	げり紙	100枚	17
	サージ	"	1,580		毛糸	500g	1,500			電気洗濯機	"		23,000	ちり紙	1冊	20
	オーバー地	"	—		打綿	1本	1,200			電球	1個		55	ノート	1冊	20
富士絹	"	350	建築材料		杉角材	1立方m	25,500			自転車	1台		16,000	飯茶わん	1個	20
ナイロンサージ	"	250			杉板材	1平方m	180		ミシン	"	28,000		なべ	"	490	
品	男子背広服	1着		10,000	セメント	1袋	360	時計	1個	4,500	マッチ	1袋(10箱)	45			
	男子学生服	"		3,600	くぎ	100g	7	雑品	感冒薬	1箱(25錠)	200	鉛筆	1本	10		
				畳表	1枚	430	栄養剤		"(30錠)	160	フィルム	"	180			
				板ガラス	"	60										

宇都宮市の全商工業者の方こそって
会員増強運動実施中
 商工会議所の会員になりましょう

◇商工会議所はそれぞれの地域の経済界の振興発展を目指していろいろな事業を図っております。
 ◇商工会議所は商工業者のサービスの機関です。
 ◇商工業者の世論を商工会議所に集めましょう。